

海外の パーティー紹介 VOL.2 アメリカ編

さまざまなスタイルでダンスを楽しむアメリカ・ニューヨーク。世界のダンスが集結する街でのダンスパーティー事情を、ニューヨークで23年のダンス経験を持つジャパソニーシヤルダンスクラブ(JSDC)を主宰するヨシ矢野先生にお話を伺いました。

カジュアルで自由なアメリカンダンスが主流！ ダンスパーティー in N.Y.

インタビュアー：文／高橋樹樹(OFFICE J) 撮影(入物のみ)／西田敦 写真提供／ヨシ矢野

ダンススタジオもパーティーも アメリカンスタイルが主流

アメリカはニューヨークに在住してのダンス歴が実に23年間もあるヨシ矢野先生。現在は日本でジャパソニーシヤルダンスクラブを主宰し、渋谷と大塚にあるスタジオでアメリカンスタイルのダンスレッスンをを行うとともに、劇団四季などのダンス指導を行う実力派のダンスインストラクターです。そんなヨシ矢野先生にニューヨークのダンス事情についてお聞きしました。

「日本では、社交ダンスと言えば競技会を含めたボールルームダンスをイメージしますが、ニューヨークでは一般的にはアメリカンスタイルの社交ダンスが主流ですね」と話すヨシ矢野先生。アメリカンスタイルの社交ダンスとは、カジュアルなパーティーで、豪華客船でのクルーズで、また舞踏会や欧米スタイルの結婚式などで見られるペアダンスです。

ここでアメリカンスタイルのダンスの種類について触れておきましょう。スタンダードでは「フォックストロット」「クイックステップ」

「ウインナーワルツ」「ワルツ」「タンゴ」、ラテンでは「スウィング」「サルサ&メレンゲ」「チャチャチャ」「ルンバ」「サンバ」「ハッスル」などがあります。それぞれ特長を持っていますが、共通している点をヨシ矢野先生はこう表現してくれました。「世界的に『通用する』スタイルであり、どんな場所でも、どんな音楽でも、どんな相手とでも一緒に楽しめる、本当の意味での『社交ダンス』なのです」と。

初心者でも気軽に始めやすいスタイルだからこそ、ニューヨークに数多くスタジオがあり、どのスタジオも多くの生徒があふれているのでしょうか……？

理由は他にもあるようです。

レッスン料はリーズナブル プログラムはフレキシブル

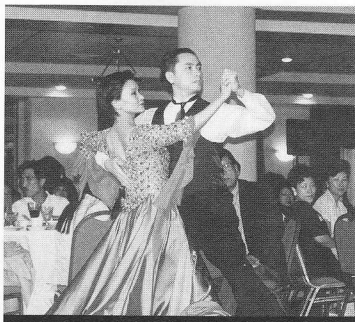
ニューヨークのダンススタジオと日本のダンス教室との違いは、「まずニューヨークのダンススタジオはパーティーを含めて、とてもリーズナブルであることが一つ。そしてプログラムの組み方、レッスンの受け方が極めてフレキシブルである点が挙げられるで

しょう」

一般的なスタジオのレッスン料は、ひと月ごとに選択できるシステムになっている。ワンレッスン〇〇ドルというのではなく、月に何度レッスンを受けたかによって、生徒が判断できるのだ。時間があれば、無制限チケットを購入して、毎日何時間ものレッスンを受ける人もいれば、あえて回数限定のチケットを購入する人もいる。ここで、少し疑問を持つ方もいるのではないだろうか。日本では先生を決めてレッスンを受けることが多く、時間があっても、毎日時間などということはできない。またグループレッスンであっても、受講できる期間や時間が限られているので、好きな時にレッスンを受けることなどできる訳がないと。

では、スタジオのプログラムはどうなっているのだろうか。

「答えは簡単です。テーブルレビの番組表を思い浮かべてみてください。毎日、隙間なくプログラムが組み込まれ、まるで再放送のように、1日の中の違う時間帯や違う曜日にも、繰り返しレッスンが組み込まれているのです。だから、生徒はほぼ自分の好きな時



チャイナタウンでのパーティー。ニューヨークにはたくさんの人種や異なった国出身の人々が集まるコミュニティがある。特にダンスが盛んな台湾人はよくダンスパーティーを開くとか。



比較的大きな劇場のジョイス・シアターでは、モダンダンスを中心に毎週のように様々なダンスショーが開催される。



ヨシ矢野先生

JSDC渋谷スタジオ
渋谷区宇田川町19-5
山手マンション705
☎03-5939-7262
http://jsdc.org/

様々な舞踏団、ミュージカル劇団で公演やダンスや振り付けの指導など、ニューヨークで23年間舞踏活動を続ける。帰国後はアメリカンスタイルの社交ダンス普及をはじめ、講師、振付家、パフォーマーなど多方面でも活躍中。